

SOFTIC 連続講座 2024 [全 17 回]

本講座では、初学者の方から中堅の方まで、企業法務・知財担当者の方はもちろん、様々なお立場の方が、これらの課題に取り組むにあたりお役に立てるよう、多彩なテーマについて、知識・実務経験豊かな一流の講師陣をお迎えし、コンパクトに、かつ深く学べる講義をお送りいたします。

基礎の確認からステップアップ、業務で生じる疑問の確認、法改正・最新判例などのキャッチアップ、周辺知識の習得など、テーマ、目的、ご必要などに応じて、ぜひご活用ください。

- さまざまな受講方法をお選びいただけます●
- ・1コマでも申込み可能
- ・関心のある回をアラカルトで（複数回割引適用）
- ・ご担当業務に応じた部署内での交替受講など（複数回割引適用）

●全回オンライン 13:30～16:30（休憩、質疑応答を含む）

2024年		講義内容(予定)	
夏 期 (著作権法・特許の初学者の方に)			
第1回	6/14 (金)	著作権法概論 I (慶應義塾大学大学院教授: 奥邨弘司) 「著作物とは」「著作権の内容」「著作者人格権」「著作権侵害」など、日本著作権法を事例に触れながら概観し、全体像を把握する。	初級編
第2回	6/28 (金)	ソフトウェア関連発明概論 (弁理士: 三品岩男) ソフトウェア関連発明とはどのようなものか、また、その特許による保護・権利化について、IoT・AI 関連の審査基準にも触れつつ、具体的な技術をもとに解説する。	
秋 期			
第3回	9/12 (木)	著作権法概論 II (慶應義塾大学大学院教授: 奥邨弘司) 「AI と著作権に関する考え方について」(文化審議会著作権分科会法制度小委員会)を徹底的に読み解く。*「考え方について」の基本的な部分は理解されていることを前提に、小委員会で論争になった部分、公表後に議論を呼んだ部分などを中心に、今後も注目されるであろう部分にポイントを絞った深い検討を行う。	著作権法(中級)
第4回	10/4 (金)	米国著作権法: 制度と判例動向 (弁護士: 上沼紫野) 米国著作権法は我が国と異なる法体系で成り立っている。まず、その制度概要を理解し、その基礎知識を踏まえ、判例動向、特にソフトウェア、ネットワーク等に関連した重要判例について、我が国の類似判例との比較も交えて解説する。	
第5回	10/11 (金)	ソフトウェア契約 (株式会社日本総合研究所 執行役員法務部長: 大谷和子) 主にソフトウェア開発委託契約を METI・IPA のモデル契約を参照しながら概観し、基本的な考え方と実務上のポイントをつかむ。民法改正(2020.4 施行)の影響についても触れる。	ソフトウェア契約
第6回	10/25 (金)	ソフトウェア取引を巡る法的トラブル (弁護士: 片山史英) ソフトウェア契約実践。ソフト取引の類型とその法的性質を概観した上で、各類型ごとの問題点及び対応の留意点を、QA 形式で実務的・具体的に解説する(簡単な事前課題あり)。	
第7回	11/7 (木)	発明の権利化と特許出願実務 (弁理士: 土井健二) 発明の抽出と権利化の実際を初学者・法務担当者にも分かりやすい完全ゼミ形式でシミュレーションする。分割出願実務のノウハウについても解説する。	特許(中級)
第8回	11/20 (水)	ソフトウェア関連特許の特許侵害論 (弁護士: 岩原将文) 侵害訴訟における攻撃・防御の基本から実戦まで広く取り上げた上で、ソフトウェア関連特許特有の問題点、OSS、クラウド、AI など、最新の問題点について深く検討する。なお、具体的な事例を対象として、半ゼミ方式で行う。	
第9回	11/26 (火)	不正競争防止法 I (弁護士: 小倉秀夫) 幅広い守備範囲を持つ不競法。I では、周知・著名商品表示や商品形態を冒用・模倣からいかに守るか、不競法第2条第1項第1号～第3号を中心に学ぶ。	不競法
第10回	12/3 (火)	不正競争防止法 II (弁護士: 小倉秀夫) II では、特に営業秘密の保護を中心に、第2条第1項第4号以降について学ぶとともに、2018年改正により新設された限定提供データの保護についても解説する。	

	2024年	講義内容(予定)
第11回	12/11 (水)	知財訴訟の判断枠組み (弁護士: 飯村敏明) 元知財高裁所長による近時の代表的な特許・著作権等知財判例の解説。侵害成否判断のポイントや判決の意義等を裁判官経験者ならではの視点でまとめる。知財法務上級。
第12回	12/18 (水)	独占禁止法と知的財産権 (弁護士: 佐藤郁美) 知的財産権に関連する行為にも適用される独占禁止法。その基礎知識を得た後、知的財産権を対象とするライセンス契約における留意点を説明する。さらに現在のデジタル経済社会におけるAI開発にかかる独禁法上の課題についても考察する。
第13回	2025年 1/10 (金)	システム開発紛争の予防と解決 (弁護士: 大澤恒夫) いかにして法的トラブルを避けるか、起きてしまったトラブルをいかに迅速に解決するか。ADRの活用も含め、考え方とポイントを整理する。
第14回	1/23 (木)	知財最新動向と企業実務 (SOFTIC 専務理事 亀井正博) ビッグデータにおけるデータの利活用に関する課題、発展著しいAIに関する知財問題など、知財及びそれを含む情報の保護とその周辺に関わるトピックについて解説するとともに、企業実務への影響を考える。
第15回	1/30 (木)	OSSの利用と法的リスク (弁護士: 宮下佳之) ★内容は決定次第公開
第16回	2/6 (木)	デジタルコンテンツの利用と今日的課題 (弁護士: 村尾治亮) 著作物に限らずさまざまな情報を含むデジタルコンテンツの取引が活発に行われている。こうした利用に関わる法的課題や競争法的な観点から、留意すべき事項等、情報の取引にまつわる、とりわけ今日的な問題について整理・解説する。
第17回	2/21 (木)	個人情報保護法の解説と越境データ問題 (弁護士: 板倉陽一郎) データ取引の一角をなす個人情報。その取扱いは時にビジネスに多大な影響を与える。第二次3年ごと見直しの動向のほか、EU一般データ保護規則(GDPR)、データ移転規制のポイントについても解説する。

【時 間】 13:30～16:30 (休憩、質疑応答を含む)

【開催方法】 全回オンライン(Microsoft Teams ミーティング)

【受講料】 1回分 賛助会員:8,800円 一般:13,200円 (消費税込み)

複数回割引例

★表に記載のない回数の割引料金については下記Webサイトをご覧ください。)

<https://www.softic.or.jp/index.php/events/lec/lec2024>

回数	賛助会員	一般
2回分	17,100	25,600
3回分	24,800	37,200
5回分	38,500	57,800
10回分	63,000	94,700
15回分	73,700	111,000
17回分	74,600	112,600
20回分	76,100	115,000

●複数回分のご利用方法の例●
3回分お申込みの場合

例①:1名が3回参加

例②:3名で同じ講座に参加

例③:3名で違う回(計3回)を
交替(1名ずつ)で受講

●お申込み・お問合せはこちらまでご連絡ください●

〒105-0003 東京都港区西新橋3-16-11 愛宕イーストビル14F
一般財団法人ソフトウェア情報センター(SOFTIC)

e-mail: lec@softic.or.jp 連続講座担当